

Edtechによる学習支援システムの構築 - File Maker を用いた学習支援システム・成績管理システムの構 築 -

| | |
|-----|---|
| 著者 | 佐野 太亮, 畠 榮, 澤村 暢, 関 雅幸, 高松 邦彦, 坂本 秀生 |
| 雑誌名 | 神戸常盤大学紀要. 別冊 |
| 号 | 12 |
| ページ | 1-1 |
| 発行年 | 2018-10-31 |
| URL | http://id.nii.ac.jp/1492/00000984/ |

1-R-1

Edtech による学習支援システムの構築 －File Maker を用いた学習支援システム・成績管理システムの構築－

佐野太亮¹⁾
畠 榮¹⁾ 澤村 暢¹⁾ 関 雅幸¹⁾ 高松邦彦²⁾ 坂本秀生¹⁾

医療検査学科では国家試験策の一環として、過去の国家試験問題（以下、過去問）を用いた模擬試験を行っている。また学生の学習方法として、学生自身が国家試験出題傾向や自身の弱点などを把握することを目的に過去問を中心に勉強することを推奨している。これらの過去問は FileMaker（ファイルメーカー社）データベース管理システム（DBMS）を用い管理している。模擬試験や国試対策の補習を行う際には、担当教員が本システムを用い問題を抽出し作成を行っている。しかし、試験の結果については紙ベースとして報告しており、学生の成績管理はデータベースとして集約していない。

現在のデータベースには問題抽出に必要なプログラムが組み込まれていないため、問題の抽出や印刷に、かなりの時間を要している。また、使用者にも制限があり、FileMaker に熟知した者にのみ使用できる設計となっている。そのため他の教員が自由に国家試験問題のデータベースを利用出来ないのが現状である。

我々は上記の 2 点の問題を解決するため、FileMaker を用い作製したデータベースに様々なスクリプトを取り入れることにより、誰にでも簡単に国試問題の抽出が出来るシステムを構築した。また、これらを利用した学生の成績管理が可能となるシステムも作成した。

今回の報告では、本システム構築や利用法、さらにはこれらのシステムを用い学生成績管理用の新たなデータベースを紹介する。

1) 保健科学部医療検査学科 2) 教育学部こども教育学科